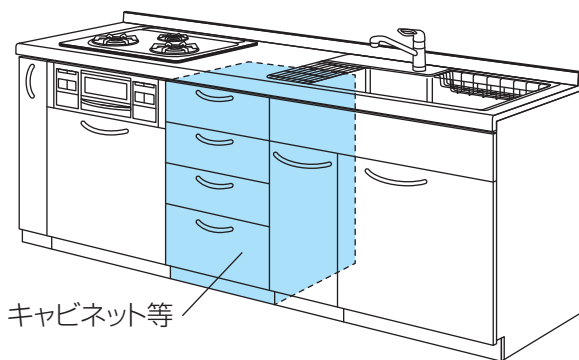


1 食洗機の有無を確認

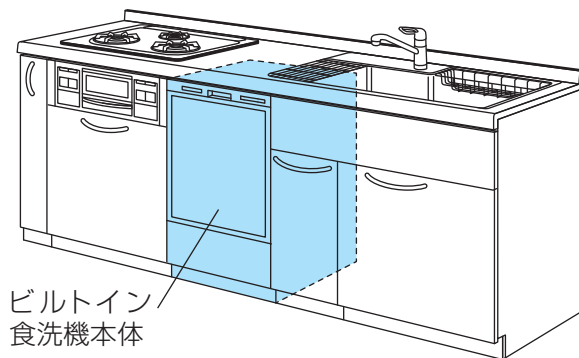
まず最初に食洗機の有無を確認します。

お客様がいまお使いのキッチンにビルトイン食洗機が設置されていない場合は「後付け」になります。



次は **2** へ進んでください

お客様がいまお使いのキッチンにビルトイン食洗機が設置されている場合は「買替え」になります。



買替え編の「買替え編 施工前の確認ポイント」を参照ください

CHECK!

お住まい、築年数等の確認は、実際の施工に大きく関係するものではありません。確認内容は、見積もり作成や、現場状況の把握等にご活用ください。

- 例1：一戸建てでキッチンが2階以上であれば、搬入や電源工事に追加工賃が必要か確認、検討する
- 例2：マンション、アパートであればエレベーターの有無で、搬入に追加工賃が必要か確認、検討する
- 例3：賃貸であれば、キッチンの加工可否を家主に確認しているか確認する

等、見積もりや、後付け可否に関わる部分についてお客様にご確認してください。

2 お住まい、築年数等の確認

お客様のお住まいについて確認します。

お住まいの種類などを確認して、見積もりや後付け可否の判断に使用します。

お客様のお住まいの種類は？

- ☒ 一戸建て(平屋またはキッチンが1階)
- ☒ 一戸建て(キッチンが2階以上)
- ☒ 分譲マンション(エレベーターの有無)
- ☒ 賃貸マンション(エレベーターの有無)
- ☒ アパート、集合住宅等
- ☒ 店舗、事務所等
- ☒ その他(別荘、工場等)

お客様のお住まいの所有者は？

- ☒ 自己所有
- ☒ 賃貸

お客様のお住まいの築年数は？

- ☒ 新築
- ☒ 新築以外(築約 年)

いまお使いのキッチンは何年目？

- ☒ 設置後年数(約 年)

次は **3** へ進んでください

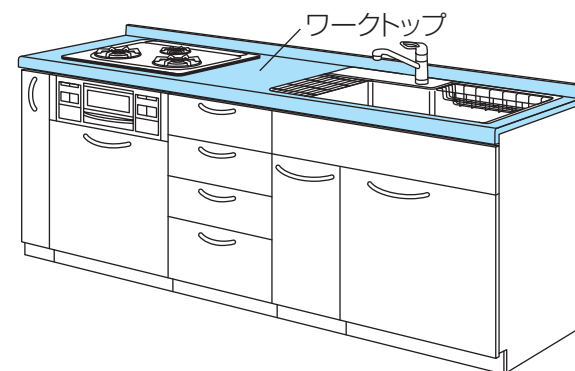
3 キッチンタイプの確認

お客様がいまお使いの、キッチンタイプを確認します。

システムキッチン

コンロ、シンク、調理台などを1枚のワークトップ(天板)で連結して、すべての設備が一体となるように組み合わせたキッチンです。

お客様がお使いのキッチンが「システムキッチン」の場合は後付けが可能です。



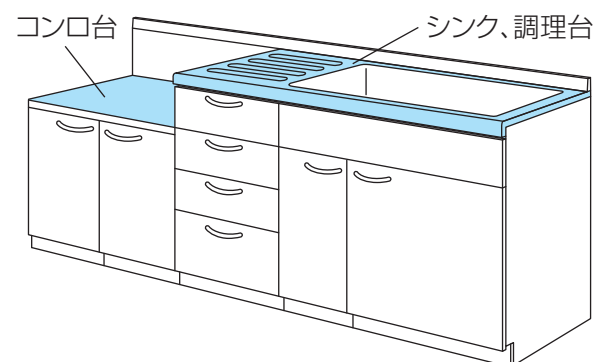
次は **4** へ進んでください

セクショナルキッチン

コンロ台、シンク、調理台などをそれぞれ別々に組み合わせたキッチンです。

お客様がお使いのキッチンが「セクショナルキッチン」の場合、後付けは不可能です。

※ 設置空間寸法が不足することが多いため後付けは不可としています。



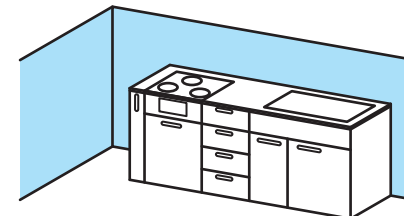
後付け不可能です

4 キッチンレイアウトの確認

お客様がいまお使いの、キッチンレイアウトを確認します。

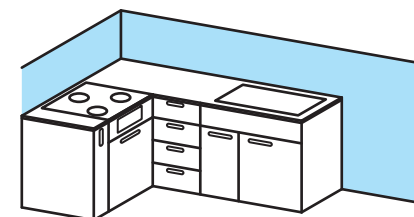
I型レイアウト

キッチンを壁に向けて1列に配置したレイアウトです。



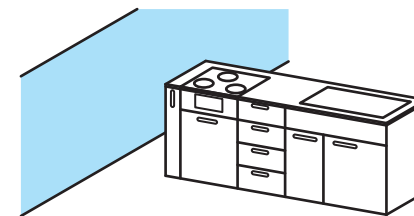
L型レイアウト

シンクとコンロをL型に配置したレイアウトです。



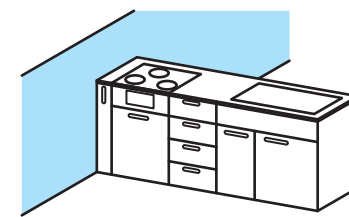
アイランド型レイアウト

キッチンを壁から独立させたレイアウトです。



ペニンシュラ型レイアウト

キッチンの左右どちらかが壁に接しているレイアウトです。



次に後付け可能場所を確認します。
カウンター下の場合

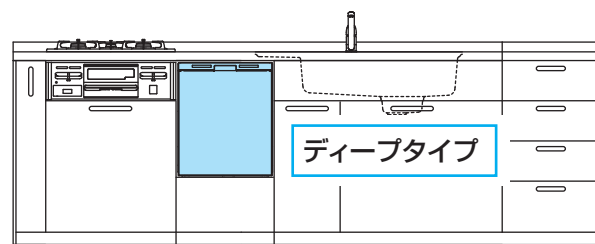
次は **5** へ進んでください

シンク下の場合

次は **6** へ進んでください

5 後付け可能場所の確認（カウンター下の場合）

カウンター下に食洗機を後付けする場合、以下の2パターンが代表的な設置場所になります。それぞれのメリット、デメリットを確認してください。



シンク左側、キッチン中央部設置

もっとも一般的で便利な設置場所です。

● メリット

- ・食器を楽な姿勢で食洗機にセットすることができます。
- ・シンクから食洗機までの動線がスムーズです。

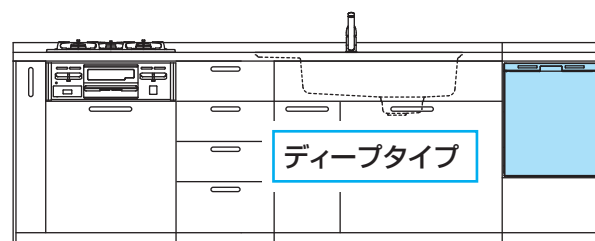
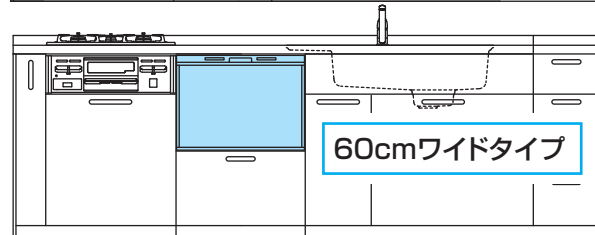
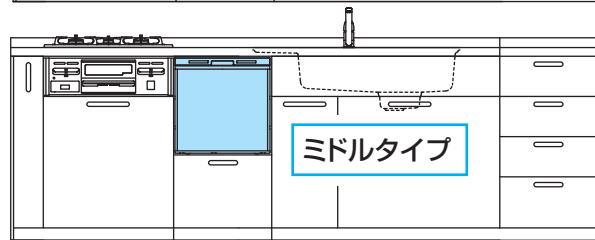
△ デメリット

- ・キッチン中央にある使いやすい位置のキャビネットを撤去することになります。
- ・L型レイアウトの場合、近接するオープン等と接触する可能性があります。

! 対応機種

- ・ディープタイプ
- ・ミドルタイプ
- ・60cm ワイドタイプ(幅60cm キャビネットの場合)

※ただし、設置空間寸法次第では設置できない場合もあります。



シンク右側、キッチン端部設置

キッチンを最大限有効活用できる設置場所です。

● メリット

- ・キッチン中央のキャビネットを残すことができるため、キッチン自体の使い勝手を悪化させません。

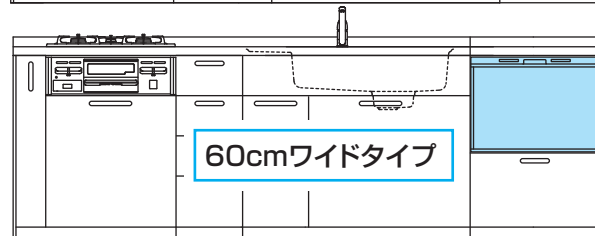
△ デメリット

- ・シンクから食洗機までの距離が遠くなります。
- ・キッチン端部に支えがないキッチンの場合、別途補強が必要になります。

! 対応機種

- ・ディープタイプ
- ・ミドルタイプ
- ・60cm ワイドタイプ(幅60cm キャビネットの場合)

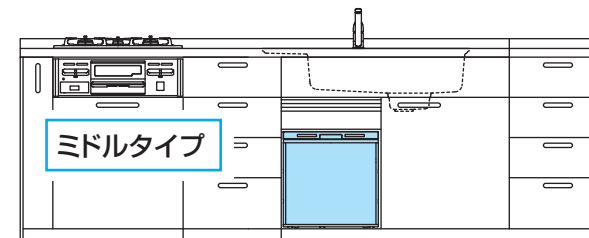
※ただし、設置空間寸法次第では設置できない場合もあります。



次は **7** へ進んでください

6 後付け可能場所の確認（シンク下の場合）

シンク下に食洗機を後付けする場合のメリット、デメリットを確認してください。



シンク下設置

キッチンのシンク(流し)の下に設置します。

● メリット

- ・食洗機がシンクの真下にあるため食器をセットする際、床へ水が垂れません。
- ・キャビネットを残すことができ、キッチンの使い勝手を損ねません。

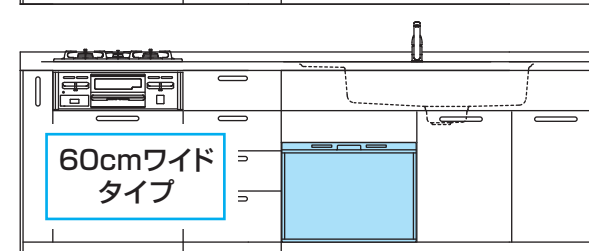
△ デメリット

- ・設置空間寸法が不足して、設置できない場合があります。
- ・食洗機本体の設置位置が低くなります。

! 対応機種

- ・ミドルタイプ
- ・60cm ワイドタイプ

※ただし、設置空間寸法次第では設置できない場合もあります。



次は **7** へ進んでください

7 後付け可否の推定

①～⑥までの確認内容から、後付けの可否を推定します。

「後付け可能」と推定できる場合

- ☒ ② お住まいの状況から後付け可能と推定できる
- ☒ ③ キッチンがシステムキッチンである
- ☒ ⑤ ⑥ お客様が希望する場所へ希望する機種を後付け可能と推定できる

次は **8** へ進んでください

「後付け不可能」と推定できる場合

- ☒ ② お住まいの状況から後付け不可能と推定できる
- ☒ ③ キッチンがセクショナルキッチンである
- ☒ ⑤ ⑥ お客様が希望する場所へ希望する機種を後付け不可能と推定できる

後付け不可能です

CHECK!

後付けが難しいと判断できる場合でも、お客様宅へ下見にお伺いしてください。

お住まいやキッチンの種類にはさまざまなパターンがあります。確認した内容からは後付けが難しいと判断できる場合でも、実際にお客様のお宅で下見をして設置空間寸法測定をすることで、後付けが可能と判断できる場合もあります。

後付けが明らかに不可能と判断できる場合以外は、下見にお伺いするようにしてください。

8 お客様宅へ訪問、下見

後付け可能と推定できる場合、お客様のお宅へ訪問して、実際に設置空間条件を確認します。

確認は、専門の担当者が行います。

お客様宅で実際に確認する内容は？

- ☒ キッチンの高さ、幅、奥行等の設置空間寸法
- ☒ キャビネット本体を撤去できるかどうか
- ☒ 電源および給・排水設備の状況
- ☒ その他周辺機器との干渉の有無

設置場所、設置機種によって差異はありますが、主に上記の内容を確認します。

お客様が希望されている後付け設置場所に対応する確認手順へ進んでください。

カウンター下へ後付け希望の場合

次は **9** へ進んでください

シンク下へ後付け希望の場合

次は **13** へ進んでください

9 キャビネットの構造確認①（カウンター下後付けの場合）

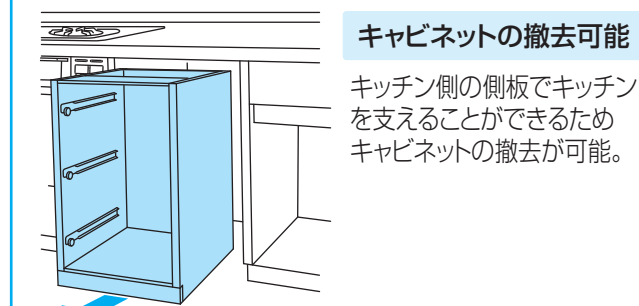
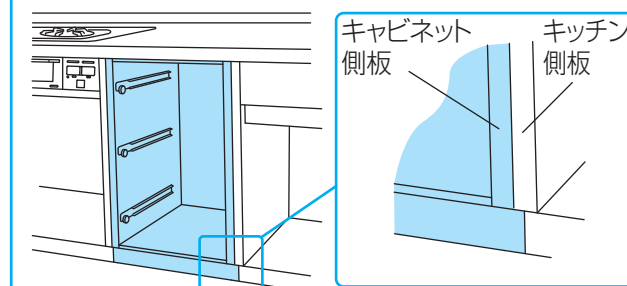
カウンター下に食洗機を設置する場合、まず後付けを予定しているキャビネットが、独立タイプか一体タイプかを確認します。

キャビネット本体が独立タイプか一体タイプかを確認します

独立タイプ

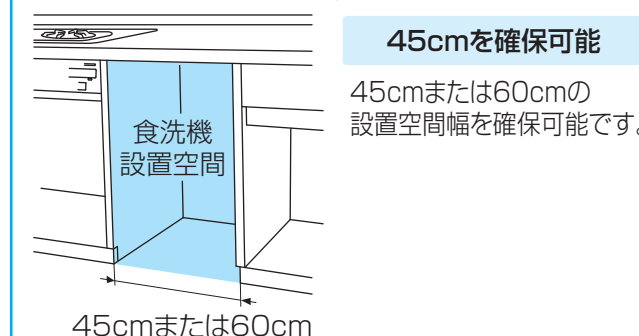
キャビネット本体と隣接するキッチンユニットの側板が独立しており、2枚合わせになっています。

キャビネットの撤去が可能です。
設置空間幅45cmまたは60cmを確保可能です。



キャビネットの撤去可能

キッチン側の側板でキッチンを支えることができるためキャビネットの撤去が可能。



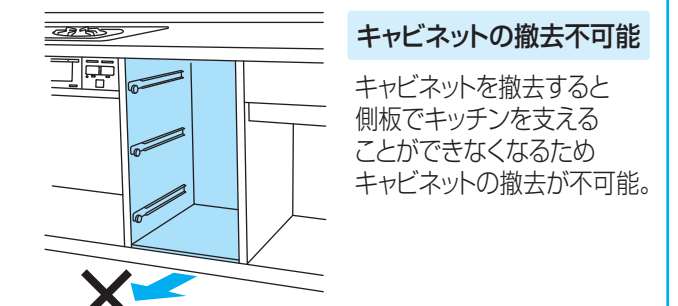
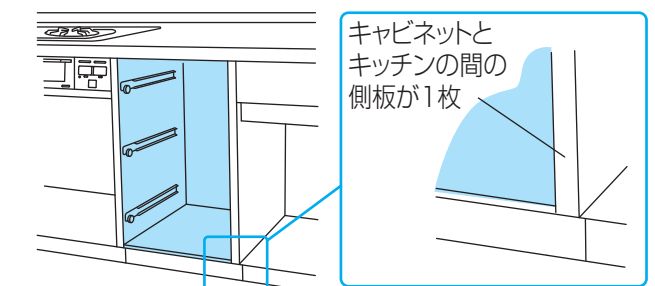
45cmを確保可能

45cmまたは60cmの設置空間幅を確保可能です。

一体タイプ

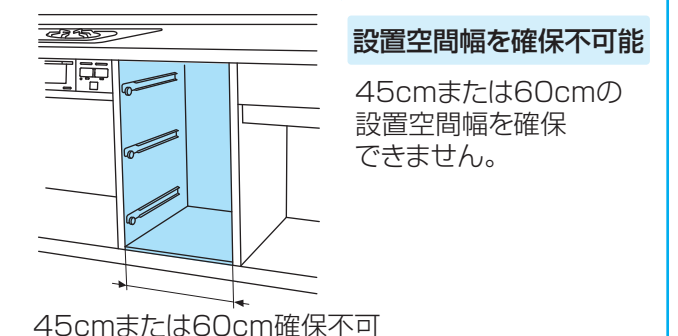
キャビネット本体と隣接するキッチンユニットが側板を共用しており、1枚になっています。

キャビネットの撤去が不可能です。
設置空間幅45cmまたは60cmを確保できません。(設置可能な機種が限られます)



キャビネットの撤去不可能

キャビネットを撤去すると側板でキッチンを支えることができなくなるためキャビネットの撤去が不可能。



設置空間幅を確保不可能

45cmまたは60cmの設置空間幅を確保できません。

10 キャビネットの構造確認②（カウンター下の場合）

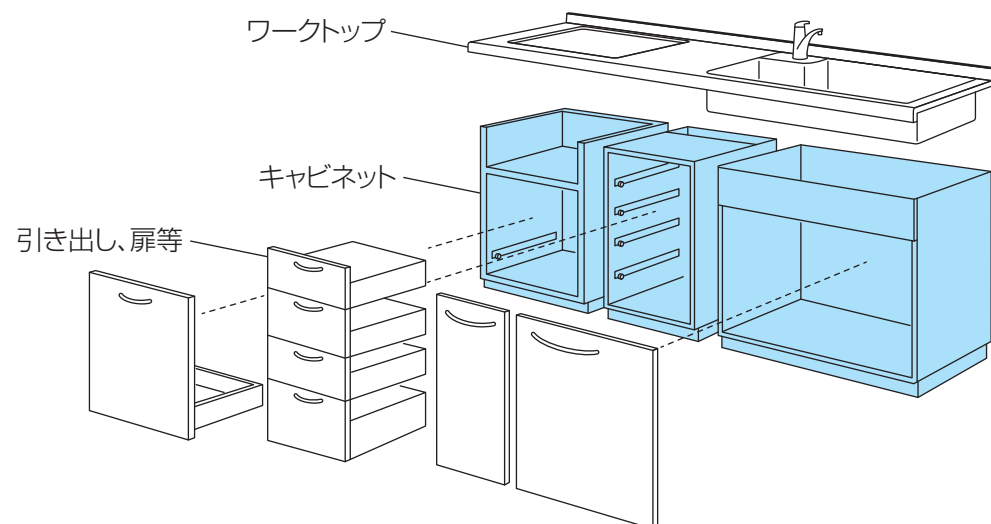
も同時に確認して、キャビネットタイプを確実に把握してください。

次は **10** へ進んでください

10 キャビネットの構造確認②（カウンター下後付けの場合）

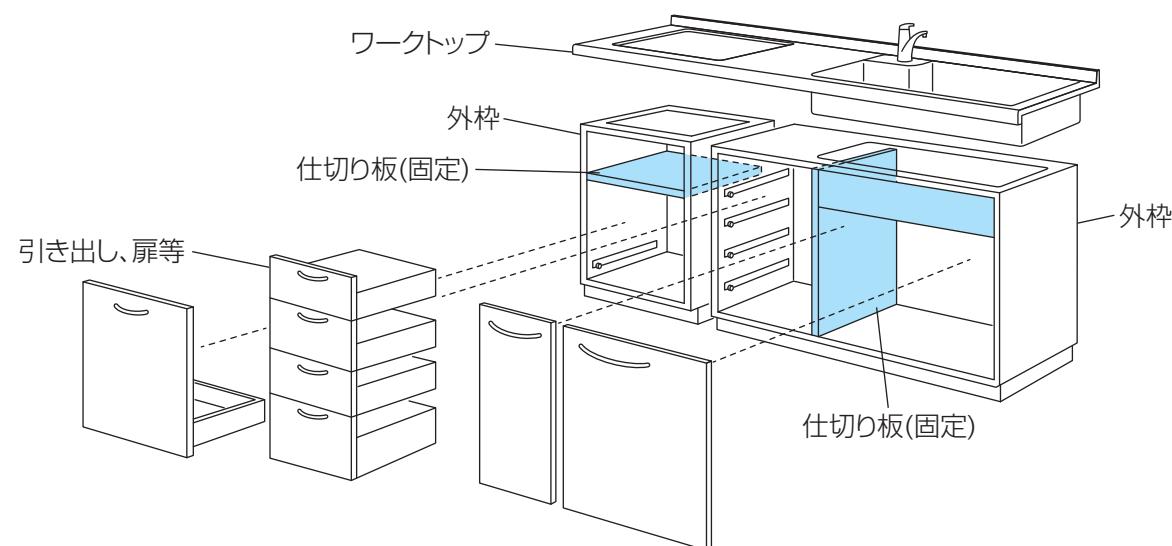
独立タイプ

独立タイプは、いくつかのキャビネットを組み合わせたものをワークトップ(天板)で連結する構造になっています。それぞれが独立しているため、キャビネットの撤去が可能です。一般的に中級～高級なキッチンで採用されている構造です。



一体タイプ

一体タイプは、外枠に仕切り板を取り付け、ワークトップ(天板)を外枠の上に乗せた構造になっています。外枠を仕切り板で仕切ったのみの構造のため、キャビネットの撤去ができません。一般的に安価なキッチンで採用されている構造です。



キャビネットが独立タイプの場合

次は **11** へ進んでください

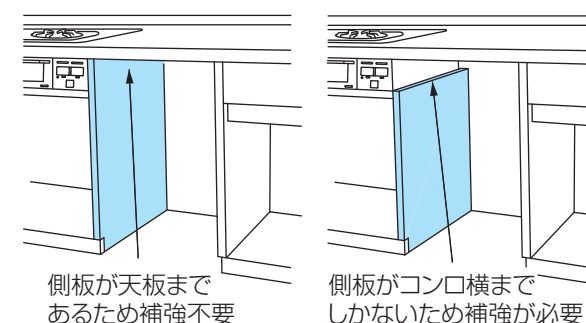
キャビネットが一体タイプの場合

次は **12** へ進んでください

11 キッチン周辺構造、状態の確認（独立タイプの場合）

キャビネットが独立タイプの場合、以下を確認します。

●キャビネット撤去後の例

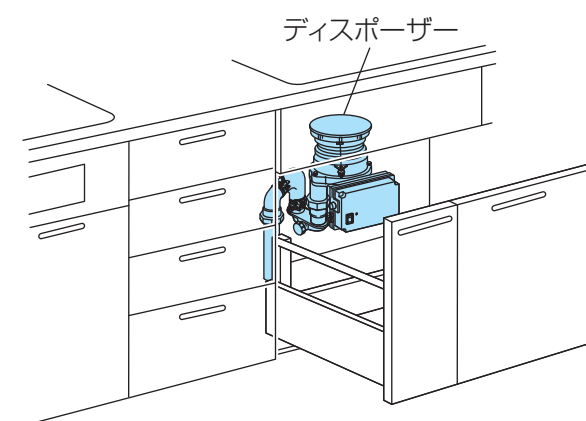


ワークトップ補強要否の確認

キャビネットを撤去した際に補強の必要がある場合、ワークトップを補強できるかを確認してください。補強ができない構造の場合、キャビネットを撤去できません。

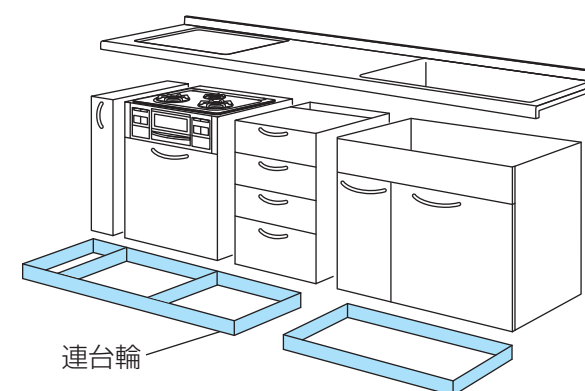
機能ユニットの確認

キャビネットやキッチンの奥にディスポーザーなどの機能ユニットがないことを確認してください。設置されている場合、設置空間寸法が不足する場合があります。多く、食洗機を設置できない可能性があります。



台輪の確認

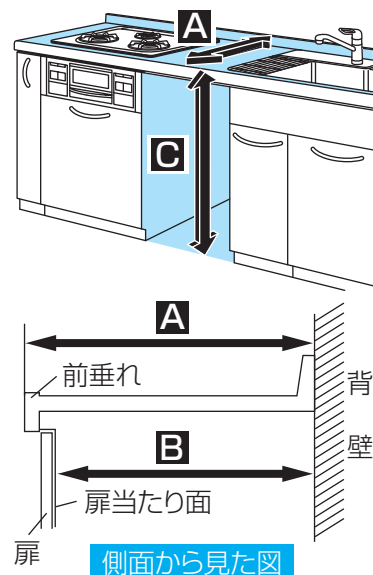
台輪が連台輪型の場合は、キャビネット下部のみ連台輪を切断、撤去する必要がありますが、切断、撤去のための加工が難しいため、キャビネットを撤去できません。



次は **12** へ進んでください

12 カウンター下設置空間寸法の確認

キッチンの高さおよびワークトップ奥行測定

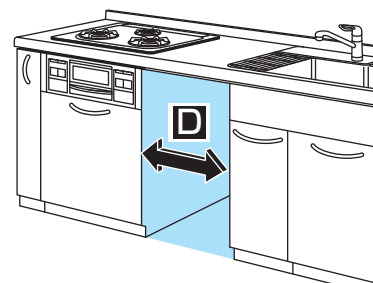


キッチンの高さおよびワークトップ奥行 **A B C** をそれぞれ測定します。

- A** ワークトップ奥行 (ワークトップ前端から背壁までの長さ)
基準: 65cm 以上 (NP-45MC6T は 60cm 以上) あること
- B** キッチン扉内奥行 (扉当たり面から背壁までの長さ)
基準: 60cm 以上あること
- C** キッチン高さ (ワークトップを含む公称キッチン高さ)
基準: 80cm ~ 90cm

- ミドルタイプ、ディープタイプ、60cm ワイドタイプとも同じ寸法条件 (一部 NP-45MC6T 専用の寸法があります) になります。
- 奥行寸法は調整が難しいため、正確に測定してください。

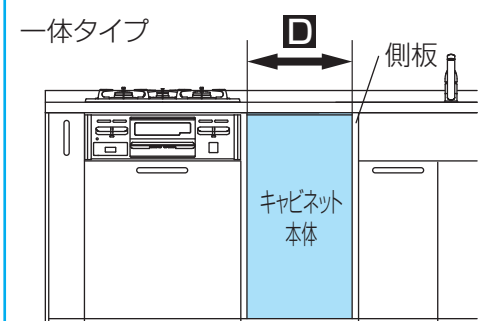
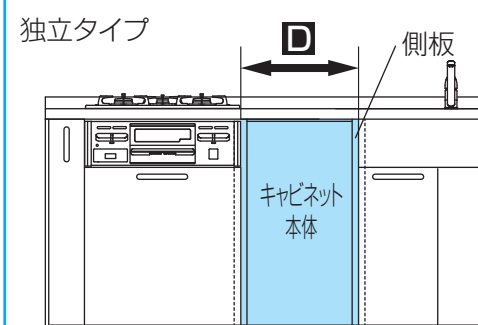
キャビネット幅測定



食洗機を後付けする空間幅 **D** を測定します。

- D** 独立タイプはキャビネット本体の幅を測定
キャビネット一体タイプは側板の内側の幅を測定
- ディープタイプを設置する場合
基準: 45cm 以上あること
- ミドルタイプを設置する場合
基準: 41.5cm 以上あること
(N-PC450S/K を使用時は 45cm 以上)
- 60cm ワイドタイプを設置する場合
基準: 60cm 以上あること
- ※ 設置する食洗機のボデー幅以上の幅があることを確認してください。

※ 9 10 11 を確認して、キャビネットタイプ、周辺の状態などを確実に把握してください。



設置空間寸法を満たしている場合

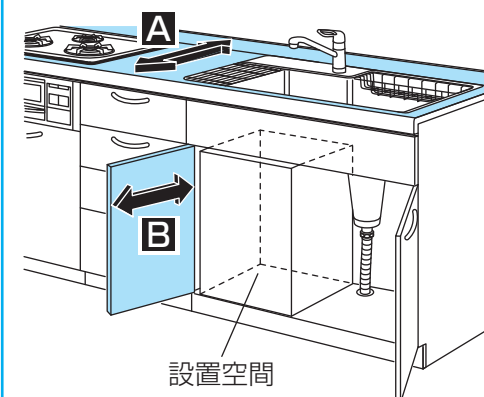
次は **14** へ進んでください

設置空間寸法を満たしていない場合

設置は不可能です

13 シンク下設置空間寸法の確認

ワークトップ奥行空間、扉幅測定

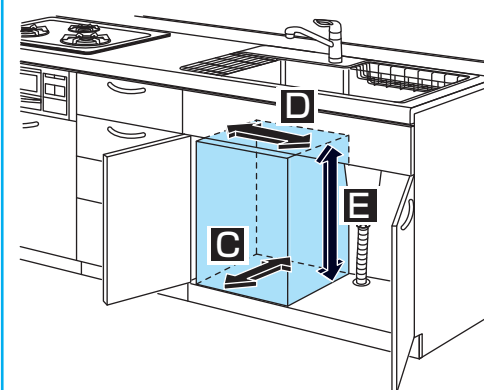


キッチンのワークトップ奥行空間と扉幅 **A B** をそれぞれ測定します。

- A** ワークトップ奥行空間 (ワークトップ前端から背壁までの長さ)
基準: 65cm 以上の障害物の無い空間があること
- B** シンクキャビネットの扉幅
ミドルタイプの場合
基準: 45cm であること
60cm ワイドタイプの場合
基準: 60cm であること

- ミドルタイプ、60cm ワイドタイプとも同じ寸法条件になります。
- 奥行寸法は調整が難しいため、正確に測定してください。

シンク下奥行空間、空間幅、扉奥高さ空間の測定



シンク下の奥行空間、空間幅、扉奥高さ空間

C D E をそれぞれ測定します

- C** シンク下奥行空間 (扉当たり面から背壁までの長さ)
基準: 60cm 以上の障害物の無い空間があること
- D** シンク下空間幅
ミドルタイプの場合
基準: 41.5cm 以上の空間があること
60cm ワイドタイプの場合
基準: 60cm 以上の障害物の無い空間があること
- E** シンク下扉奥高さ空間
ミドルタイプ、60cm ワイドタイプの場合
基準: 47cm 以上の障害物の無い空間があること

- 基準寸法が不足して設置できない場合は、背板や幕板などを加工することで設置できる場合もあります。(お客様の同意が必要です。)
- 奥行寸法は調整が難しいため、正確に測定してください。

設置空間寸法を満たしている場合

次は **14** へ進んでください

設置空間寸法を満たしていない場合

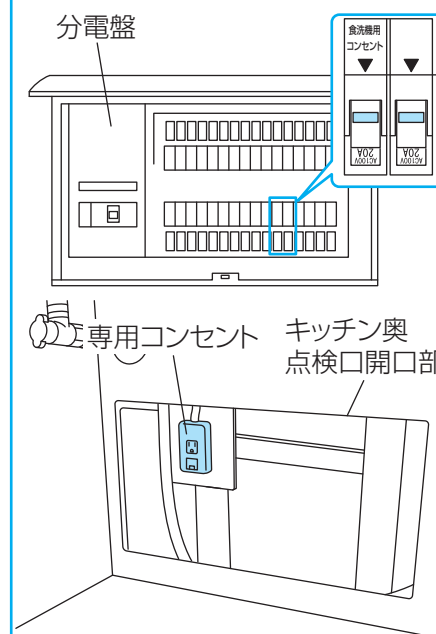
設置は不可能です

MEMO

14 電源、給・排水設備の確認

電源、アースの確認

- 電源には「**単相 125V、15A**」の専用電源および **D 種（第 3 種）接地端子**が必要です。
- 電源コンセントは「**定格表示 15A、125V の埋込型アースターミナル付コンセント**」が必要です。



食洗機用専用ブレーカーの有無を確認します。

分電盤に「食洗機用」「オプション用」などの表示がある場合はキッチン奥に専用コンセントが設置されている可能性があります。

- ブレーカーが無い場合はブレーカーおよびコンセントの増設が必要です。
- 分電盤が建物 1 階、キッチンが 2 階以上の場合、分電盤からキッチンまでの配線が必要になります。

食洗機用専用コンセントの有無を確認します。

分電盤に専用ブレーカーがある場合はキッチン近傍の専用コンセントを確認します。

- キッチン奥の点検口を外すとコンセントがある場合もあります。
- 専用コンセントが無い場合は、新しく設置する必要があります。

給・排水設備の確認

給水接続か給湯接続かを、お客様にご確認ください。(給湯接続された場合には運転時間短縮のメリットがあります)

給水設備の設置条件

水道水圧が **0.03 ～ 1MPa** (0.3 ～ 10kgf/cm²) の範囲であること。

- 配管状態によって水圧が上昇する場合、0.6MPa (6kgf/cm²) を越えるときは減圧弁を取り付けてください。
- 給水流量が蛇口全開時に **毎分 8L 以上** あること。

給湯設備の設置条件

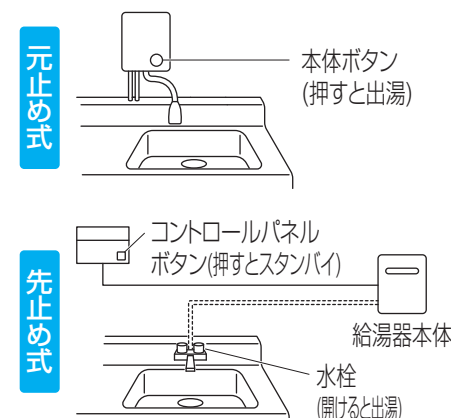
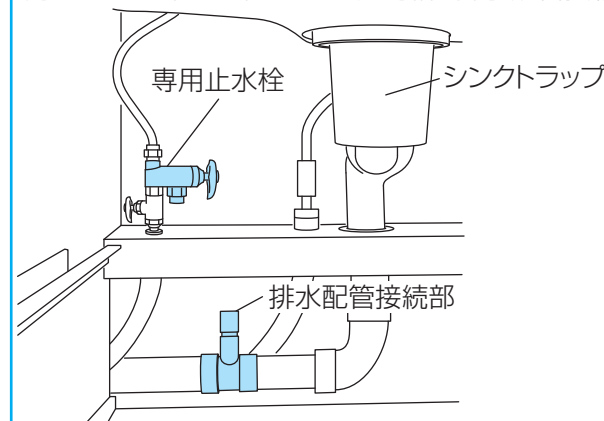
給湯器は **中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯器、10 号相当以上の先止め式給湯器** などで、温度調節可能なものであること。

給・排水配管設備の確認

キッチンに食洗機用の給・排水接続部が設置されているか確認します。

- 給・排水接続部が無い場合は、新しく設置する必要があります。

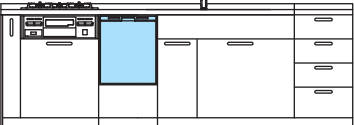
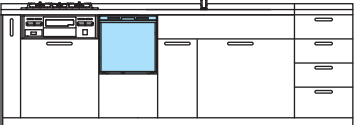
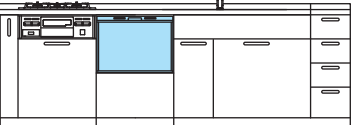
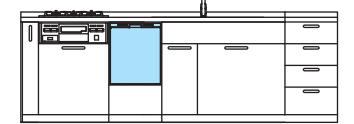
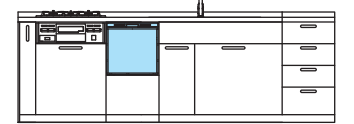
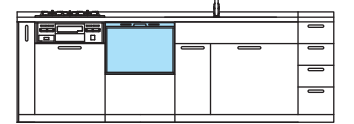
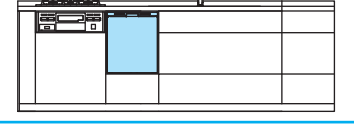
例：キッチン下に設置の食洗機用給、排水配管接続部



次は **15** へ進んでください

15

設置要件の確認（カウンター下に後付けの場合）

カウンター下に後付けする場合の設置空間条件、設置パターン			
機種タイプ	ディープタイプ	ミドルタイプ	60cm ワイドタイプ
測定ポイント 12 参照			
A ワークトップ奥行	NP-45MC6T 60cm 以上	65cm 以上	65cm 以上
	上記以外のディープタイプ 65cm 以上		
B キッチン扉内奥行	60cm 以上	60cm 以上	60cm 以上
C キッチン高さ	80cm ～ 90cm	80cm ～ 90cm	80cm ～ 90cm
D キャビネット幅	45cm 以上 (食洗機と同じ幅が必要)	※1 45cm 以上 (N-PC450S/Kと同じ幅が必要)	60cm 以上 (食洗機と同じ幅が必要)
		※2 41.5cm 以上 (食洗機と同じ幅が必要)	
標準設置パターン	キャビネ撤去+ディープタイプ ・キャビネット本体を撤去 ・食洗機本体と食洗機同梱の台枠（脚ユニット）を使用 	キャビネ撤去+ミドルタイプ ・キャビネット本体を撤去 ・食洗機本体と専用収納キャビネット（N-PC450S/K）を使用 ※1:キャビネット幅は45cm必要 	キャビネ撤去+60cmワイドタイプ ・キャビネット本体を撤去 ・食洗機本体と専用収納キャビネット（N-PC600S/K）を使用 
応用設置パターン	足元ストッカー残し+ディープタイプ ・キッチンの足元ストッカーを残す ・足元ストッカーの上部に食洗機本体を設置（NP-45MC6Tを除く） 	キャビネ引き出し残し+ミドルタイプ ・キャビネット本体および最下段の引き出しを残す ・食洗機用の棚板と食洗機本体を設置 ※2:キャビネット幅は41.5cm必要 	足元ストッカー残し+60cmワイドタイプ ・キッチンの足元ストッカーを残す ・足元ストッカーの上部に食洗機本体を設置 

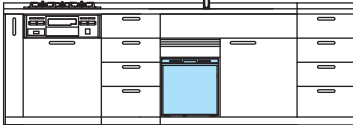
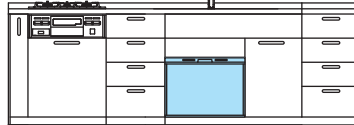
次は

17

へ進んでください

16

設置要件の確認（シンク下に後付けの場合）

シンク下に後付けする場合の設置空間条件、設置パターン		
機種タイプ	シンク下+ミドルタイプ	シンク下+60cm ワイドタイプ
測定ポイント 13 参照		
A ワークトップ奥行空間	65cm 以上	65cm 以上
B 扉幅	45cm	60cm
C 奥行空間	60cm 以上	60cm 以上
D 空間幅	41.5cm 以上	60cm 以上
E 扉奥空間高さ	47cm 以上	47cm 以上

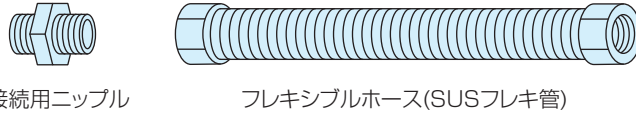
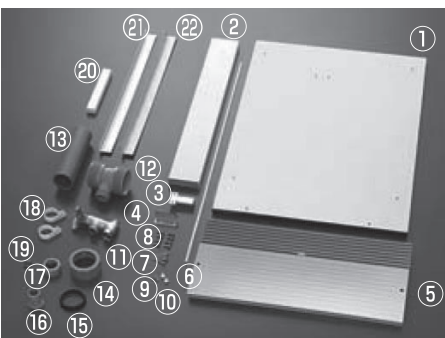
※ **A C D E** については障害物の無い連続した空間が必要です。

次は

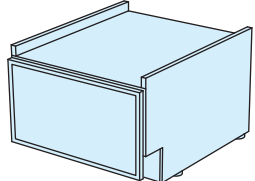
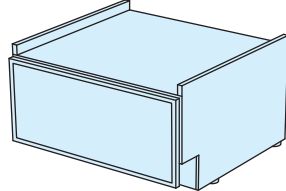
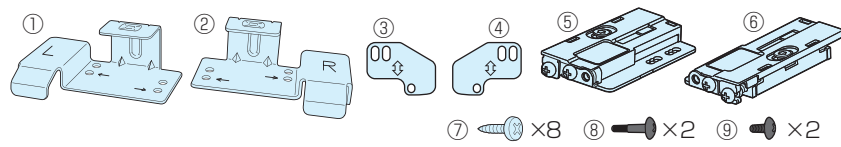
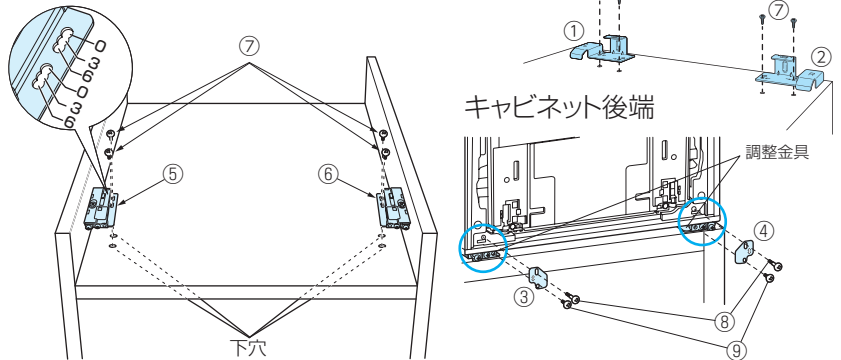
17

へ進んでください

17 必要な部材の確認①

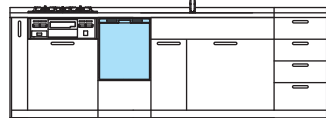
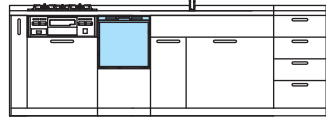
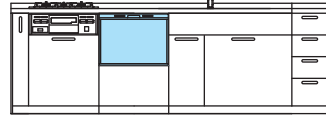
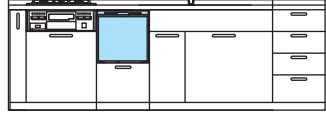
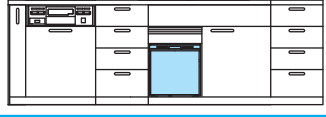
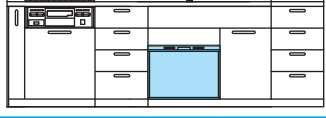
	部材詳細	要否判断、備考
電 源	コンセント (定格表示15A、125Vの埋込型アースターミナル付コンセント) ブレーカー (住宅分電盤用漏電ブレーカーまたは分岐安全ブレーカー HB型)	設置されていない場合、準備ください。
給 水	アングル型止水栓 (ハンドル式、固定ゴマタイプ) SUSフレキ管 (ネジ径: G1/2、呼び径: 13) 接続用ニップル (ネジ径: G1/2) 	設置されていない場合、準備ください。 (N-KH450S/Kには同梱されています) ※ 食洗機本体の給水ホースの長さでは、止水栓の接続部まで届かない場合に準備してください。
排 水	カウンター下設置用簡易排水管キット N-KH1 希望小売価格 6,600円 (税抜 6,000円 / 工事費別) (パナソニック(株) キッチン空間事業部扱い) 【部品内容】 ①排水ホース(2m) Aユニット ②排水ホース Bユニット ③排水チーズユニット ④ホースバンド(ネジ式) ⑤ホースバンド(大) ⑥ホース穴カバー ⑦ホースホルダー ⑧タッピングネジ  シンク下設置用簡易排水管キット N-KH3 希望小売価格 7,700円 (税抜 7,000円 / 工事費別) (パナソニック(株) キッチン空間事業部扱い) 【部品内容】 ①排水チーズ ②排水管 ③2インチナット ④三角パッキン ⑤1インチインナー ⑥1インチナット ⑦ホースホルダー ⑧ネジ ⑨スペーサー ⑩下フィルター (N-KH450S/Kの12番から20番まで、および22番をセットにしたものです)	排水ホースを延長する場合、排水トラップに排水ホース接続部を設置する場合に使用します。 ※ ①は食洗機本体の排水ホースの長さでは、排水管の接続部まで届かない場合に使用します。 食洗機本体の排水ホースを排水トラップや横引き管に直接接続する場合に使用します。
取り付け部材	キッチンのシンク下に食洗機を後付けするために必要な部材のセットです。 N-KH450S (シルバー用) 希望小売価格 27,500円 (税抜 25,000円 / 工事費別) N-KH450K (ブラック用) 希望小売価格 22,000円 (税抜 20,000円 / 工事費別) (パナソニック(株) キッチン空間事業部扱い) 【部品内容】 ①補強板 ②仕切り板 ③固定金具 (上) ④固定金具 (下) ⑤化粧板 ⑥戸当たりパッキン ⑦補強板取付ネジ ⑧固定金具取り付けネジ ⑨化粧板取付ネジ ⑩キャップ ⑪分岐止水栓 ⑫排水チーズ ⑬排水管 ⑭2インチナット ⑮三角パッキン ⑯1インチインナー ⑰1インチナット ⑱ホースホルダー ⑲ネジ ⑳スペーサー ㉑上フィルター ㉒下フィルター 	シンク下にミドルタイプ (ディープタイプ) を後付けする際の部材をセットしたものです。 ※ 60cm ワイドタイプには対応しません。

17 必要な部材の確認②

	部材詳細	要否判断、備考
取り付け部材	下部収納キャビネット (アジャスター付きプルオープン専用キャビネット) ① N-PC450S (ドア面カラー: シルバー) 希望小売価格 38,500円 (税抜 35,000円) (ドアパネル・工事費別) ② N-PC450K (ドア面カラー: ブラック) 希望小売価格 33,000円 (税抜 30,000円) (ドアパネル・工事費別) (パナソニック(株) キッチン空間事業部扱い) 	ミドルタイプをカウンター下に後付けする際に使用します。
	下部収納キャビネット (アジャスター付きプルオープン専用キャビネット) ① N-PC600S (ドア面カラー: シルバー) 希望小売価格 49,500円 (税抜 45,000円) (ドアパネル・工事費別) ② N-PC600K (ドア面カラー: ブラック) 希望小売価格 44,000円 (税抜 40,000円) (ドアパネル・工事費別) (パナソニック(株) キッチン空間事業部扱い) 	60cm ワイドタイプをカウンター下に後付けする際に使用します。 ※ NP-60MS8Sの操作部カラーはシルバーです。
	ディープタイプ用金具 (NP-45MC6Tを除く) (足元ストッカー残しまたはシンク下後付けパターンに使用) 足元ストッカーを残して、ディープタイプを後付けする際に使用する金具類です。(パナソニックサービスセンター扱い) ※ 食洗機同梱の金具類は使用できません。	カウンター下に足元ストッカーを残して後付けするパターンまたはシンク下に後付けする場合に使用します。
	品番 部品名 希望小売価格 (税込) ① ANP1701-15WO アングル A (L) <転倒防止金具> 330円 (税抜 300円) ② ANP1702-15WO アングル B (R) <転倒防止金具> 330円 (税抜 300円) ③ ANP348-15WO 脚取付板 B (L) <固定金具> 440円 (税抜 400円) ④ ANP348-15W1 脚取付板 B (R) <固定金具> 440円 (税抜 400円) ⑤ ANP3D-15V0 調整脚 U (L) <調整金具> 1,870円 (税抜 1,700円) ⑥ ANP3D-15V1 調整脚 U (R) <調整金具> 1,870円 (税抜 1,700円) ⑦ XTB4+14AFJ バインドタッピングネジ×8本 — ⑧ XT TANP404 特殊トラスタッピングネジ<ネジ黒> (長)×2本 — ⑨ XT TANP405 特殊トラスタッピングネジ<ネジ黒> (短)×2本 — ⑩ ANP9947-17WO 据付注意書 C (型紙) —	※ ディープタイプ専用です。 ※ セットではないため個別に発注してください。 ※ NP-45MC6Tには対応しません。
	 ディープタイプ用金具設置方法  キャビネット後端 調整金具	

次は 18 へ進んでください

18 各設置パターン別の必要部材

設置パターン 詳細は15 16 設置要件の確認を参照ください	● 主要な部材を記載しています。必要に応じて準備ください 詳細は17 必要な部材の確認①、②を参照ください			
	電源	給水	排水	備考、取り付け部材
キャビネ撤去+ディープタイプ 	コンセント ブレーカー	アングル型 止水栓 SUS フレキ管	N-KH1 または N-KH3	
キャビネ撤去+ミドルタイプ 	コンセント ブレーカー	アングル型 止水栓 SUS フレキ管	N-KH1 または N-KH3	N-PC450S/K (P16)
キャビネ撤去 +60cm ワイドタイプ 	コンセント ブレーカー	アングル型 止水栓 SUS フレキ管	N-KH1 または N-KH3	N-PC600S/K (P16)
足元ストッカー残し+ディープタイプ 	コンセント ブレーカー	アングル型 止水栓 SUS フレキ管	N-KH1 または N-KH3	(NP-45MC6Tを除く) ディープタイプ用金具 (P16)
キャビネ引き出し残し+ミドルタイプ 	コンセント ブレーカー	アングル型 止水栓 SUS フレキ管	N-KH1 または N-KH3	食洗機用棚板 L型金具 (詳細施工例③参照)
足元ストッカー残し+60cm ワイドタイプ 	コンセント ブレーカー	アングル型 止水栓 SUS フレキ管	N-KH1 または N-KH3	
シンク下+ミドルタイプ 	コンセント ブレーカー	アングル型 止水栓 N-KH450S/K 使用の場合は不要 SUS フレキ管	N-KH3 N-KH450S/K 使用の場合は不要	N-KH450S/K (P15)
シンク下+60cm ワイドタイプ 	コンセント ブレーカー	アングル型 止水栓 SUS フレキ管	N-KH3	補強板、仕切り板、化粧板 等の部材が別途必要 市販品を調達して加工のうえ 使用してください

次は19へ進んでください

19 見積もり作成、お客様との合意

設置場所、設置機種等を決定したら見積もりを作成します。

見積もりに必要な要件は？

- ☒ 設置に関する基本的な費用
 - 本体部品代
 - キッチンの加工等に関わる費用
 - 廃材の廃棄費用
 - 新品本体の設置費用
 - 諸経費等
- ☒ 本体設置に関して必要な部材
- ☒ 電源、給・排水関係に必要な部材
- ☒ 追加工事費用

見積もりが完成したら、お客様に提示して内容について合意してください。

合意できたら工事日程を決定のうえ、施工にお伺いします。

次は20へ進んでください

20 施工

施工に関しては各「詳細施工例」および本体同梱の取付設置説明書を参照して施工してください。

詳細施工例①
キャビネット本体を撤去して、ディープタイプをビルトイン

詳細施工例②
キャビネット本体を撤去して、ミドルタイプ + 下部収納キャビネットをビルトイン

詳細施工例③
引き出しキャビネットに食洗機用棚板を設置して、ミドルタイプをビルトイン